

# MAIL FILTER GUARDMAN™

Powered by **CLEAR<sup>1</sup>  
SWIFT**

総合メールセキュリティ対策ソリューション

## メールフィルタガードマン サービス仕様書

**株式会社ディーネット**

大阪本社 〒541-0041  
大阪市中央区北浜 2-6-11 北浜エクセルビル5F  
TEL:06-6231-8887 FAX:06-6231-8897

東京支社 〒105-0001  
東京都港区虎ノ門 2-3-22 第一秋山ビル5F  
TEL:03-3591-8887 FAX:03-3591-8886

第3版

**内容**

- 1 はじめに..... 4**
  - 1.1 本仕様書について ..... 4
  - 1.2 メールフィルタガードマン コンセプト..... 5
- 2 メールフィルタガードマン Infrastructure ..... 6**
  - 2.1 設備環境 ..... 6
  - 2.2 回線..... 6
  - 2.3 メールフィルタガードマン システムセキュリティ仕様 ..... 6
  - 2.4 責任範囲 ..... 6
- 3 メールフィルタガードマン サービス仕様..... 7**
  - 3.1 スпамメールチェック機能について ..... 7
    - 3.1.1 スпамチェック機能の詳細について ..... 8
  - 3.2 ウイルスチェック機能について ..... 9
  - 3.3 コンテンツチェック機能(オプションサービス)..... 9
    - 3.3.1 検査範囲について..... 9
    - 3.3.2 通知内容について..... 10
    - 3.3.3 コンテンツチェックの種類について ..... 11
  - 3.4 メール送受信の経路について ..... 13
    - 3.4.1 受信時の経路について ..... 13
    - 3.4.2 メール送信時の経路について ..... 14
- 4 お申し込みと導入設定について ..... 16**
  - 4.1 お申し込み方法について ..... 16
  - 4.2 導入時設定について ..... 17
    - 4.2.1 メールサーバ設定 ..... 17
    - 4.2.2 DNSのMXレコード設定 ..... 17
- 5 導入後のサポートについて ..... 18**
  - 5.1 お問い合わせ窓口 ..... 18
- 6 FAQ..... 19**
  - 6.1 利用アカウントはどのように数えていますか？ ..... 19
  - 6.2 申し込みからどれくらいで利用出来ますか？ ..... 19

---

6.3	送信時のローカル配送時のチェックについて .....	19
6.4	Submission ポートには対応していますか? .....	19
6.5	メールが遅延するのですが? .....	20
6.6	大容量のファイルは送信できますか? .....	20
6.7	コンテンツチェックサービス(オプション)導入に関する御社内での社内調整のお勧め .....	20
6.8	コンテンツチェックサービスで検知したメールを止めることはできますか? .....	20
6.9	コンテンツチェック機能精度向上への取り組み .....	20
<b>7</b>	<b>改訂履歴.....</b>	<b>21</b>

# 1 はじめに

## 1.1 本仕様書について

本サービス仕様書はメールフィルタガードマンサービス契約約款第4条第2項にある、サービス内容の詳細を定めるものです。

メールフィルタガードマンサービス契約約款と併せてご確認ください。

尚、本仕様書は当社が必要と判断した場合、契約者の承諾無しに変更をすることがあります。予めご了承ください。

また、本仕様書中の「Mail Filter Guardman」は「メールフィルタガードマン」と同義としております。

■ ディーネットサービスサイト

<http://www.denet.ad.jp/>

■ メールフィルタガードマンサービス契約約款

[http://www.denet.co.jp/service/pdf/yakkan/mail\\_esp\\_kiyaku.pdf](http://www.denet.co.jp/service/pdf/yakkan/mail_esp_kiyaku.pdf)

■ 情報セキュリティ基本方針

<http://www.denet.co.jp/securityinfo>

■ プライバシーポリシー

[http://www.denet.co.jp/privacy\\_policy](http://www.denet.co.jp/privacy_policy)

※本サービス仕様書に記載されている会社名、システム名、製品名、ロゴ、写真等は一般に各社の登録商標または商標です。

## 1.2 メールフィルタガードマン コンセプト

— 時代にマッチしたメールセキュリティ対策サービスの決定版 —

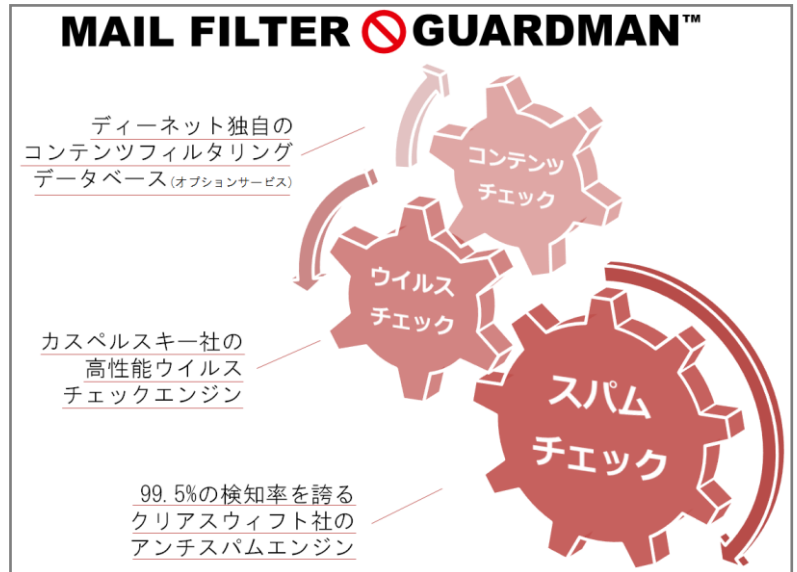
業務におけるEメール(以下、メール)の役割は、最も重要なコミュニケーションツールとして今後も利用され続けることは間違い有りません。

しかし、メールを発端とする、インターネット上の脅威は、ここ数年で大きく様変わりしてきました。以前までは「不特定多数に対し、ばらまかれるウイルス付きメールに対して、何らかのウイルス対策をしていれば安全」という状況でした。

しかし、2010年頃から『一目ではスパムメールとは分からないメールを送りつけ、そこから悪意のあるWEBサイトへ巧みに誘導し、ウイルスに感染させる手法』、いわゆる広義の『標的型攻撃』と言われる手法が中心となってきました。

これにより防御の中心が、『ウイルスを除去すること』ではなく、『怪しいメールを予め受け取らないこと』に重要性が移り、スパムメール対策こそがメール利用における脅威対策の主流となってきました。

本サービスでは、ウイルスチェックの重要度を考慮しつつも、スパム対策に重きを置いた、時代にマッチした総合メール対策ソリューションです。



### ■近年のメールを取り巻く脅威の例



(※)ウイルス(マルウェア)が仕込まれたサイトにアクセスして、ウイルスに感染させるやり方を『ライブバイダウンロード』と呼び、近年最も多い被害の例です。また、その被害の実態は過去においては、単なるいたずら目的でしたが、近年は個人情報、機密情報の取得を狙い、その情報を売買する金品目的が主流となってきました。

## 2 メールフィルタガードマン Infrastructure

### 2.1 設備環境

堅牢セキュアな専用データセンタービルディングにてメールフィルタガードマンシステムを稼働させ、サービスの安定稼働を追求します。

#### 【データセンター設備概要】

- 免震構造ビルディング
- 無停電装置完備(停電後 48 時間稼働)
- 窒素ガス消化設備
- 入退室の対人認証セキュリティシステム
- サーバ機器収容専用ラック(施錠扉付)
- 24 時間空調完備
- 24 時間有人対応

### 2.2 回線

100Mbps 共有回線にてご提供しております。

### 2.3 メールフィルタガードマン システムセキュリティ仕様

- 機器冗長化対策済
- 不正侵入対策済
- システムログイン管理者制限対策済
- システムエンジンの随時アップデート実施

### 2.4 責任範囲

メールフィルタガードマンシステムは冗長構成を取っております。

障害の際には利用機器の切替え作業を行うことにより、迅速なサービス復旧を実施致します。

また、御社ご利用メールサーバの不具合や、ネットワーク疎通に関連する障害、その他メールフィルタガードマンシステムに依存しないサービス障害につきましては、ご利用中のホスティングサービス仕様をご確認ください。

## 3 メールフィルタガードマン サービス仕様

メールフィルタガードマンのメールチェック機能であるスパムチェック機能、ウイルスチェック機能、及びオプションサービスで提供している、コンテンツチェック機能についてご説明します。

また、メールフィルタガードマンのメール送受信時の配送経路について、ご説明します。

### 3.1 スパムメールチェック機能について

スパムメールとは、受信者の意向を無視して、送信される、電子メールメッセージのことを指します。

メールフィルタガードマンでは、このスパムメール対策として、クリアスウィフト社のスパムメールチェックエンジンを採用しています。



スパムメールを介して、不正な WEB サイトへ誘導するなど、近年においては特にスパムメール対策が重要度を増しています。

クリアスウィフト社のスパム対策製品は、世界 17,000 社以上の企業で採用され、政府団体から金融機関、製造業、マスコミまであらゆる組織にて利用されている非常に信頼性が高い製品です。

また検知率は 99.5% 以上(※クリアスウィフト社公式情報より)の精度でスパムメールの特定と、フィルタリングを行います。

【参考】クリアスウィフト社ホームページ <http://www.clearswift.com/jp/>

メールフィルタガードマンでは、以下の種類のスパムチェック機能を標準で提供しています。

#### ■主なスパムチェック機能

- スパムメールを送信するホストとしてブラックリスト登録されているメールサーバからの配信を拒否します。
- メールの送信元アドレス名(ドメイン名)がスパムメールと判断された場合そのメールを破棄します。
- スパムメールサーバ側に、こちらがメールを受付けていないかのように振る舞い、スパムメールの送信を諦めさせます。
- スパムメールと判断されたダイレクトメールや広告メールを検知し、メールの件名に [SPAM?] の文言が付加します。

これらの機能の詳細につきましては、次項にてご確認いただけます。

### 3.1.1 スпамチェック機能の詳細について

スパムメールのチェック機能の詳細は以下の通りです。

#### ■スパムチェック機能一覧

機能	説明
DNSBL	スパムメール送信ホストとしてブラックリスト登録されているホスト IP からのメールを拒否します。
送信者ドメインの検証	メールの送信アドレスのドメイン(メールアドレスの@マークより右の部分(※1))がスパム配送ドメインとマッチし、スパムメールと判定した場合、そのメールの配送自体を拒否します。 (※1)この場合のドメインは、denet@example.com の example.com の部分にあたります。
グレーリストイング (GrayListing)	メールフィルタガードマンのメールサーバに初めて接続してきたホストからの接続を 5 分間拒否する設定です。これは、ほとんどのスパムメール送信ホストは、一度目の送信時に遅延が発生したら送信を中止するメカニズムを利用したものです。
ジャンクメール検出	スパムメールの一種であるジャンクメールとは、Web サイト等から入手したメールアドレス宛に、営利目的のメールを無差別大量に配信することを指します。また、インターネットを利用したダイレクトメールもこれにあたります。ここでは、ジャンクメールメッセージ特有のパターンに基づきメッセージのチェックを行います。ジャンクメールと判定されたメールは件名の頭に [SPAM?] の文言が付加されます。
バルクメール	スパムメールの一種であるバルクメールとは、受信者と面識のない個人や、事業者が自らの広告宣伝といった目的で不特定多数のメールアドレスへ送信するメールの事を指します。ここでは、マス メール型メッセージ特有のパターンについて、メッセージをチェックして判定します。ここでバルクメールと判定されたメールも、件名の頭に [SPAM?] の文言が付加されます。
URL ブロックリスト (CURBL)	URL ブロックリストとは、メッセージ本文内の URL のドメイン名を、過去に受信したスパム メッセージ内にあったドメインのリストと照合し、検出する機能です。クリアスウィフト社が開発した「Clearswift URL リアルタイム ブロックリスト (CURBL)」を使用したスパム メッセージの識別判定をします。 ここでスパムメールと判定されたメールも、件名の頭に [SPAM?] の文言が付加されます。



## 3.2 ウイルスチェック機能について

メールフィルタガードマンではカスペルスキー社のウイルスチェックエンジンを採用しています。

カスペルスキー社は、特に欧米諸国でトップシェアを誇り、世界最高レベルの検出率と、ほぼゼロに近い誤検知率を誇る、非常に信頼の高い製品です。

【参考】カスペルスキー社ホームページ <http://www.kaspersky.co.jp/>



ウイルスチェック機能において、ウイルスを検知した際の動作は、以下の通りです。

事象	メールフィルタガードマンの動作
外部からお客様宛に送られてきたメールからウイルスが検出された場合。	該当のメールは遮断されます(※1)。
内部(お客様側)から、外部宛に送られたメールからウイルスが検出された場合。	該当のメールは遮断されます(※1)。

(※1)メール自体は検体として、メールフィルタガードマンシステム内に保管されますが、お客様への提供はできません。

## 3.3 コンテンツチェック機能(オプションサービス)

コンテンツチェック機能とは、メールの内容に特定のキーワードや、一定数以上の個人情報検出された場合に、予め登録されたお客様側の管理者様宛にメール通知される機能です。  
通知先のメールアドレスにつきましては、別途ご指定いただきます。

これはディーネット独自に開発されたデータベースにて検出されます。  
この機能については、オプションサービスとなっております。

### 3.3.1 検査範囲について

検査対象となるのは、メールの以下の範囲になります。

- メール宛先(To: Cc: Bcc:)
- メール件名(サブジェクト)
- メール本文
- 添付ファイル(テキスト ZIP/LZH、MS-OFFICE 書類、PDF)
  - ※但し、暗号化圧縮されていないファイルに限ります

### 3.3.2 通知内容について

導入時にご指定いただいた宛先に、以下の内容のメールが配信されます。

【通知メール例】 クレーム文言対象ワードを検出した場合

送信元アドレス	MailCheckService@mailfilterguardman.com
宛先アドレス	mailcheck@example.com (*1)
添付ファイル	1. TextScan.Htm (*2) 2. 検出対象となったメール(*3)
メール件名	[MailFilterGuardman]クレーム文言対象ワードの検出
メール本文	<p>管理者様</p> <p>MailFilterGuardman システムにより、メール中にクレーム(扇情的文言・感情的文言)と推測される文言が検出されました。</p> <p>詳細は添付ファイル TextScan.Htm をご確認ください。</p> <p>このメールは MailFilterGuardman システムから配信されています。 本メールアドレスへは返信しないでください。</p> <p>■検出されたメールの情報</p> <p>=====</p> <p>送信者: customer@examplecust.com (*4)</p> <p>受信者: information@example.com (*5)</p> <p>件 名: 先日あなたのお店で嫌な思いをしました。 (*6)</p> <p>送信日: Fri, 04 May 2012 19:34:40 +0900 (JST) (*7)</p> <p>=====</p>

(\*1)(\*5)example.com はお客様ご利用ドメインにあたります。

(\*2)メールの内容を解析した結果が HTML ファイルで添付されます。Internet Explorer などのブラウザで内容を開覧する事が出来ます。

(\*3)実際に送信されたメールが添付されます。Outlook 等のメーラーで閲覧することが出来ます。

(\*4)examplecust.com は実際に送られたメールの送信元のドメイン名にあたります。

(\*6)実際に受信したメールの件名がここに抜粋されて記載されます。

(\*7)実際に受信したメールの送信日時が記載されます。

### 3.3.3 コンテンツチェックの種類について

コンテンツチェック機能においては、以下のチェックが行われます。

それぞれ検知した際には、メールフィルタガードマンシステムから、項目 3.3.2 記載した内容のメールが管理者宛に送られます。

それぞれの機能毎にメールの件名が設定されていますので、その件名を Outlook 等メーラーの「メッセージルール機能」で仕分けして管理することをお勧め致します。

#### 3.3.3.1 差別用語対象ワード

世間一般的に差別用語、侮辱の言葉として知られる文言を対象にフィルタリングを行います。

いわゆるテレビ番組で言う『放送禁止用語』とお考えください。

これを検出した通知メール件名は「**[MailFilterGuardman]差別用語対象ワードの検出**」となります。

これらの文言は大きな問題に発展する可能性があるため、検出された場合は以後の対応を十分にご検討の上、ご対処ください。

これらの文言がメール件名、本文、添付ファイルに記載されていた場合に差別用語としてチェックされ、管理者に通知されます。

心象を悪くする言葉が構成されておりますので、ここでは掲載を差し控えております。

当社にお問い合せいただきましたら、個別にご回答させていただきますので、お問い合わせください。

#### 3.3.3.2 機密情報対象ワード

以下の文言がメール中や、添付ファイルに記載されていた場合に、検出されます。

これを検出した通知メール件名は「**[MailFilterGuardman]機密情報対象ワードの検出**」となります。

これは、お客様社内規定で送信が禁止されている機密ファイル類が、送信されていることや、または暗号化されずに送信されているものをチェックする目的で検出されます。

検出時にはファイルの中身を確認し、送信したユーザへの是正勧告等の指導に役立てることができます。

##### 【検出対象文言】

開発コード	取り扱い注意	非公式	未発表	査察
極秘	取扱い注意	部外秘	免責事項	
社外秘	非公開	未承認	機密	

### 3.3.3.3 個人情報対象ワード

個人情報に関連する検出になります。

これを検出した通知メール件名は「**[MailFilterGuardman]個人情報対象ワードの検出**」となります。

以下の条件にマッチした場合に、検出されます。

これも機密情報対象ワードと同様に、送信が禁止されている以下のファイル類の送信をチェックする目的で検出します。

#### 【検出対象条件】

1. 住所録漏洩対策として「市 区 町 村」を含んだ文言が 100 件以上あった場合に検出
2. 電話番号漏洩対策として電話番号が 100 件以上あった場合に検出
3. メールアドレス漏洩対策として、メールの宛先(To と Cc)にメールアドレス(@を含む文言)が 100 件以上あった場合に検出

### 3.3.3.4 クレーム文言対象ワード

以下のようなクレームや、扇情的な文言がメール件名、本文、添付ファイルに記載されていた場合にクレームワードとしてチェック対象となります。

これを検出した通知メール件名は「**[MailFilterGuardman]クレーム文言対象ワードの検出**」となります。

対象文言が多岐に渡るため、以下の記載では一部抜粋としております。

以下に掲載されていない文言は個別にお答えさせていただきます。

#### 【検出対象文言(一部抜粋)】

いい加減な仕事	どういった判断	ばかばかしい	甘えていないか	社内が混乱
けじめ	どないやねん	ふざけている	気があるのなら	中途半端な
けんか	なぜ報告が	やる気あんのか	気分が悪い	判断が甘
たはずですよ	なぜ連絡が	アホンダラ	欠如していま	不愉快
ついていけない	なめている	クレーム	現場が混乱	面倒臭い
つけあがる	なんでやねん	嘘をつくな	混乱します	余計なお世話

### 3.3.3.5 インターネットスラング対象ワード

インターネット掲示板や、ソーシャルネットワークなどで使われているスラング(俗語)は日々新しい言葉が生まれています。

それらの文言には他人を侮辱したり、蔑む言葉が多くあり、当人以外には分からない言葉でやりとりされています。

それらの文言がメール件名、本文、添付ファイルに記載されていた場合にインターネットスラング対象ワードとしてチェックされ、管理者に通知されます。

これを検出した通知メール件名は「**[MailFilterGuardman]**インターネットスラング対象ワードの検出」となります。

品位を損なう言葉が構成されておりますので、ここでは掲載を差し控えております。

当社にお問い合わせいただきましたら、個別にご回答させていただきますので、お問い合わせください。

## 3.4 メール送受信の経路について

メールフィルタガードマンサービスのメール経路は送信時と、受信時で配送経路が異なります。

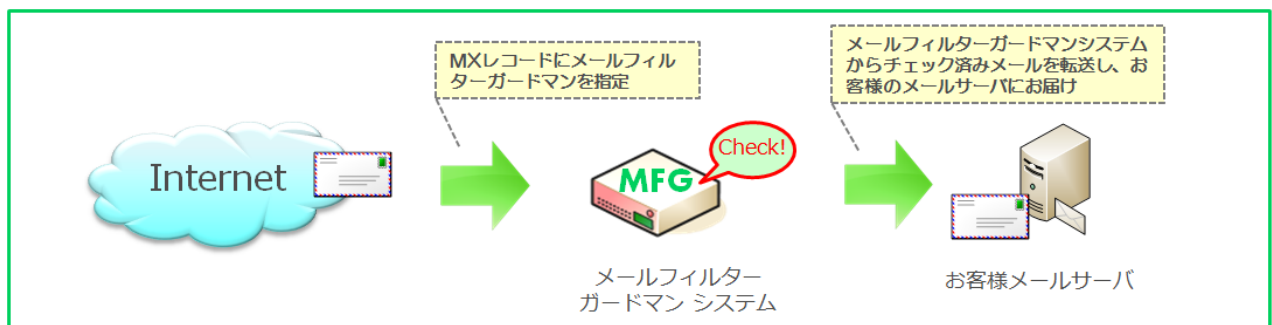
また、送信経路は、お客様の環境に合わせて、標準的な構成以外にも2つの構成パターンでの対応が可能です。

### 3.4.1 受信時の経路について

メールフィルタガードマン利用時の、メール受信時の経路は下図の通りです。

お客様のご利用ドメインのメールの宛先(MXレコード)に、メールフィルタガードマンサービスのメール受信用メールサーバを指定し、メールフィルタガードマンシステムでスパムチェック、ウイルスチェックを行い、安全なメールをお客様のメールサーバに転送します。

#### ■メール受信時の経路



(※)お客様がご自身でドメインの管理をされている場合、MXレコードに sbasp01.sendmail.ne.jp、sbasp02.sendmail.ne.jp の2つをご登録ください。

### 3.4.2 メール送信時の経路について

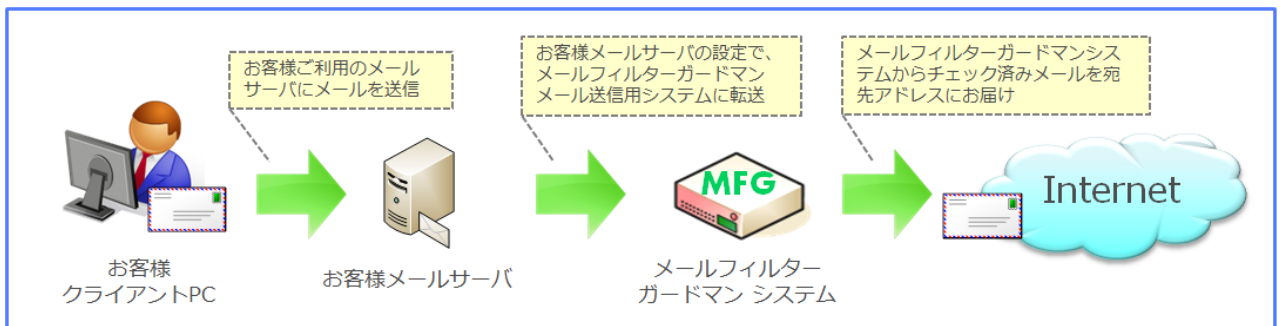
メールフィルタガードマン利用時の、メール送信時の経路は①、②、③の3パターンがあります。

メールの送信経路は、①が標準的な構成ですが、お客様のメールサーバの設定のご都合により、②のパターンでもご利用することが可能です。

パターン③につきましては、2014年09月以前の一部のお客様がご利用のパターンとなります。

#### ■メール送信時の経路①【標準経路】

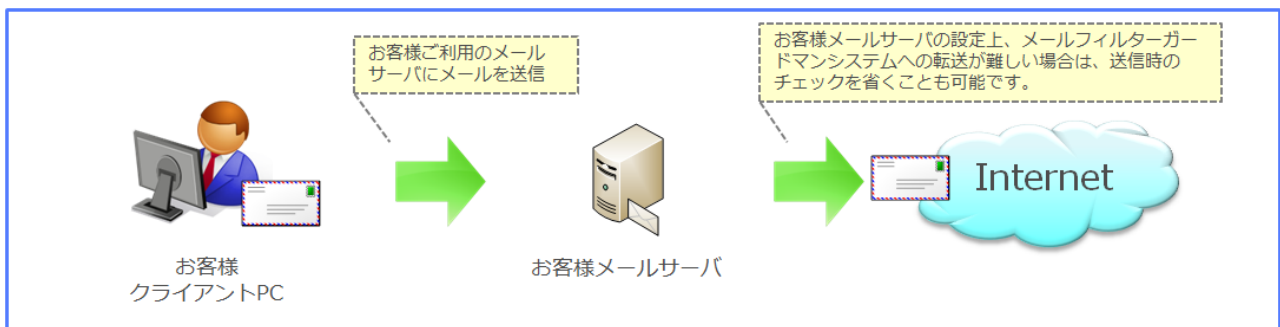
パターン①は、お客様クライアントPCから、一旦お客様のメールサーバに送信してから、メールフィルタガードマンシステムに転送する経路を取ります。



(※)このパターンの場合、宛先のメールアドレスのドメインが、お客様メールサーバ内にある場合(例えば、お客様がご利用のドメインと同じドメイン名に宛てたメール)は、メールフィルタガードマンシステムにメールが転送されませんので、送信時のチェックは有りませんので、ご注意ください。

#### ■メール送信時の経路②【送信時のチェック省略パターン】

パターン②は、お客様のメールサーバから、メールフィルタガードマンシステムへのメール転送ができない場合、メール送信の場合は、メールフィルタガードマンシステムによるメールチェックを行わないパターンとなります。

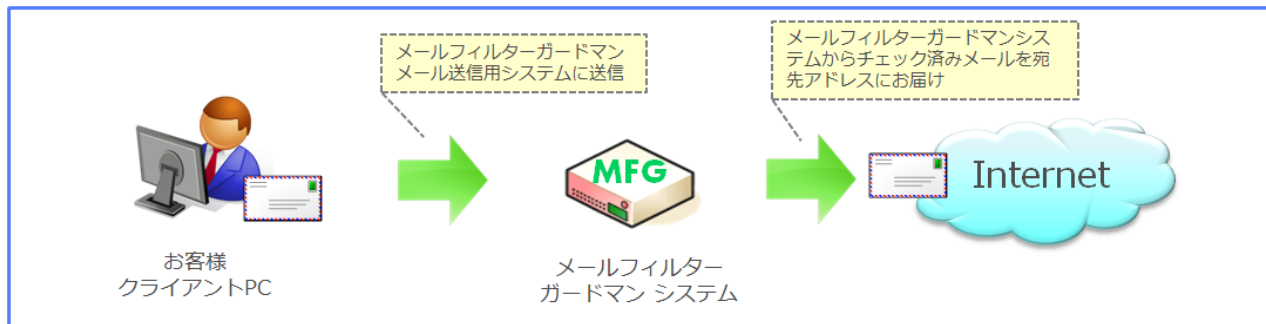


■メール送信時の経路③【2014年09月以前にご利用開始の一部のお客様】

パターン③は、お客様のクライアント PC から直接、メールフィルタガードマンシステム宛てに、メール送信する経路を取ります。

こちらは、2014年09月以前にご利用開始の一部のお客様における経路です。

現在、新規取扱いはしていません。



## 4 お申し込みと導入設定について

### 4.1 お申し込み方法について

お申込の際は、御見積書を作成し、お送りしますので内容に沿ってご注文ください。

また、ご利用開始までに以下の必要事項についてそれぞれ確認をさせていただきます。

#### 1. 御見積書に必要な項目

御見積に必要な情報として、**利用ドメイン数と、それぞれのドメイン毎の利用アカウント数の情報が必要です。**  
また、オプションサービスコンテンツチェックサービスをご利用の場合は、御見積の際にお申し付けください。

#### 2. メールサーバ

お申し込み対象のメールサーバのホスト名(FQDN 名)、IP アドレスを確認させていただきます。  
当社のホスティングサービスをご利用いただいている場合は、当社側で確認するので不要です。

#### 3. お客様へのご連絡先(運用アドミニストレータ登録)

当社専有ホスティングサービスをご利用いただいているお客様(※1)は、既に運用アドミニストレータ登録をされているので、こちらは不要です。

メールフィルタガードマンサービスのみをご利用で、当社サービスをご利用いただいていないメールサーバの場合(※2)は、当社からお客様へのご連絡先をお伺いする事になります。

(※1)御見積書には、『ホスティング版』と記載されています。

(※2)御見積書には、『ゲートウェイ版』と記載されています。



## 4.2 導入時設定について

お申込をいただいた後に、メールフィルタガードマンをご利用いただくために、対象のドメイン名のゾーン情報(MXレコード)の変更と、お客様メールサーバのメール転送設定(リレー設定)をしていただきます。

尚、当社のホスティングサービスにてメールサーバをご利用いただいております、ドメインの管理も当社にて行っている場合、以下の設定は当社側で行いますので対応は不要です。

### 4.2.1 メールサーバ設定

**本項は、メールサーバを当社のホスティングサービスではない場合に限り必要となります。**

御社のメールサーバに、メールフィルタガードマンシステムサーバからの SMTP 接続の許可設定を入れてください。またファイアウォールの接続制限を行っている場合は、以下の IP アドレスからの SMTP 接続を許可してください。

mfgasp01.sendmail.ne.jp IP アドレス[121.83.205.40]

mfgasp02.sendmail.ne.jp IP アドレス[121.83.205.41]

また、お客様メールサーバから外部へのメールリレー設定(中継設定)に **mfgasp.sendmail.ne.jp** を指定してください。

- Postfix の場合は main.cf の relayhost が該当します。
- qmail の場合は smtproutes が該当します。

### 4.2.2 DNS の MXレコード設定

**本項は、対象ドメインを当社のドメインサービスをご利用では無い場合に限り必要となります。**

ご利用ドメインの DNS 設定において、MXレコードを登録する際は、以下の 2 件をご指定ください。優先度は任意の優先度で問題ありません。

1 件目 sbasp01.sendmail.ne.jp

2 件目 sbasp02.sendmail.ne.jp

## 5 導入後のサポートについて

サービス提供後のサポート体制につきましては、以下の通りです。

### 5.1 お問い合わせ窓口

お問い合わせの際には、以下までお問い合わせください。

当社からお客様へのご連絡の際には、専有ホスティングサービス専用のサポート窓口、『運用アドミニストレータ様』にご登録されている方に対し、ご連絡を差し上げます。

尚、当社のホスティングサービスを利用しない『ゲートウェイ版』でのご利用のお客様につきましては、4.1 章にも記載されているとおり、導入時に当社からのご連絡先を確認させていただきます。

#### ■メールフィルタガードマンお問い合わせ窓口

種別	受付時間	連絡先
電話	当社営業時間	06-6231-8887
メール	当社営業時間	info@denet.co.jp

#### ■お問い合わせ窓口に関するご留意事項

- 当社営業時間とは、土日祝日・年末年始および当社が定めた休日を除く平日の9時から18時の間となります。
- 当社営業日の9時～18時までに受け付けたメールについては当日対応いたします。
- 当社営業時間外または非営業日に受け付けたメールについては翌営業日の対応となります。
- 内容によってはお受けできないことや、時間を要することもございますので予めご了承ください。

## 6 FAQ

メールフィルタガードマンにつきまして、ご不明な点につきましてはまず以下の FAQ をご確認ください。

### 6.1 利用アカウントはどのように数えていますか？

メールフィルタガードマンサービスでは、お客様がご利用の当社ホスティングサービス(※1)のサーバ内に設定されている『実際にメールボックスを持つメールアカウント』の数をアカウント数の計上対象としています。

メーリングリストや、転送アドレスは原則として除外しております(※2)。

尚、メールサーバ管理者アカウント『postmaster』や、『catchall』(※3)、また当社が動作確認を行うためのアカウント(denet を冠するアカウント名)については、除外してカウントしています。

(※1)当社のホスティングサービスを利用しない、ゲートウェイ版の場合は、定期的にお客様にご利用メールアカウント数を確認しております。

(※2)但し、メールサーバ利用の主目的が、メーリングリストや、転送アドレスの運営であった場合は、その設定アカウント数分を計上対象とする場合があります。

(※3)メール宛先に、アカウントが設定されていない場合に、受信する集約アカウントです。

### 6.2 申し込みからどれくらいで利用出来ますか？

お申込みから 5 営業日程度でご利用いただくことが出来ます。

それ以降でお客様のご都合よろしい日時をご指定ください。

### 6.3 送信時のローカル配送時のチェックについて

3.4.2 章のパターン②の場合、メール送信時につきましては、ローカル配送(メール送信サーバと受信サーバが同一サーバの為、外部にメールが配送されず、サーバ内のメールボックスにメールが配送される)となりますので、メールフィルタガードマンによるチェックはされません。

### 6.4 Submission ポートには対応していますか？

メールフィルタガードマンシステム自体は、クライアント PC からの直接のメール送信先サーバでは有りませんので、直接メール送信はできません。

メールフィルタガードマンのメールサーバには、お客様サーバを経由してメールが配送されてきますので、お客様の送信メールサーバ自体が対応していれば、特に問題無く Submission ポートでのメール配送が出来ます。

## 6.5 メールが遅延するのですが？

一般的なスパムメール配信プログラムの仕組み上、メールを送りつけようとした先のメールサーバが、しばらく応答が無い場合、スパムメール配信プログラムは『メールを受け取ってくれないメールサーバだ』と判断して、大半はそのメールサーバに対し、スパムメールの配信を諦めます。

この仕組みを利用して、メールフィルタガードマンは、初めてメールを送ってきたメールサーバからのメール受付を、一旦拒否します。

この為、初めてメールを送ってきたメールサーバからのメールは、概ね 5 分程遅延が発生します。

これは後述のスパムメールチェック機能の『グレーリストイング』にあたります。

もし 30 分以上メールが届かない場合は、当社テクニカルサポートまでメールの配信状況と共にお申し付けください。

## 6.6 大容量のファイルは送信できますか？

20MB 未満のメールしか受け付けられません。

20MB 以上のメールが送信された場合は、管理者宛に件名が「**[MailFilterGuardman] サイズ超過メール配送拒否のお知らせ**」の通知メールがきます。

また、御社の送信メールサーバが 20MB 以下の制限を掛けていた場合、それ以下の容量しか送信出来ませんのでご注意ください。

## 6.7 コンテンツチェックサービス(オプション)導入に関する御社内での社内調整のお勧め

コンテンツチェックサービスは、ご登録ドメインに配送される全てのメールが検出対象となります。

導入の際は御社内にて予めメール査閲の事前説明と同意取得を御社内ですることをお勧め致します。

## 6.8 コンテンツチェックサービスで検知したメールを止めることはできますか？

できません。

メール通過させたい通報する動作となります。

## 6.9 コンテンツチェック機能精度向上への取り組み

検知するキーワードの個別カスタマイズはお受けできません。

但し、ご要望が多いキーワードにつきましては、当社にて検討のうえ当社標準データベースに追加することがあります。

## 7 改訂履歴

発行	改訂日	改訂項目	改訂内容
第1版	2011年10月01日	—	新規作成
第2版	2012年06月01日	3.2	文言(表現)の修正
		3.3	コンテンツフィルタリングの選択が可能になった。
		4.1	申込書フォーマット変更により、記載内容を更新
		6.3	文言(表現)の修正
		6.9	文言(表現)の修正
		6.12	新規追加
		7	本改訂履歴を追加。
第3版	2014年09月01日	全編	サービスのリニューアルリリースに伴う、サービス構成等も含めた、全体的な見直し。

# MAIL FILTER GUARDMAN™



株式会社ディーネット

■東京支社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-3-22 第一秋山ビル 5F

TEL 03-3591-8887 FAX 03-3591-8886

■大阪本社

〒541-0041 大阪市中央区北浜 2-6-11 北浜エクセルビル 5F

TEL 06-6231-8887 FAX 06-6231-8897